



前進

第1号

4月13日発行

文責：濱田

育てたい力：共感力・探究力・協働力

今年度、歴史と伝統ある佐敷小学校の校長職を拝命することとなりました濱田良彦（はまだよしひこ）と申します。三岳精神を教育理念とする佐敷小の学校経営を担うことのやりがいとともに、「子どもの命を預かり、守り、育てる」役目をもつ学校の校長としての責任の重さもひしひしと感じます。しっかり地に足をつけ、どっしり腰を据え、じっくり冷静に頭で考えながら、佐敷小の子どもたちがたくましく成長していけるよう自覚と覚悟をもって経営に当たる所存です。

私事となりますが、佐敷小学校には教諭時代7年間勤務しました。旧校舎の時代に子どもたちと共に日々教育活動に取り組んでいたことを改めて思い出しました。始業式に校歌を歌う機会があり、懐かしい歌詞と心地よいテンポのメロディを口ずさみながら、新たな気持ちで頑張ろうと思った次第です。

さて、今年度の佐敷小学校の重要なミッション(使命)を次のように考えています。

(1) 教育環境の復興

ご存知の通り、令和2年7月4日の豪雨で、佐敷小学校は大きな被害を受けました。現在本校舎1階の改修中で、2学期からは全員そろって本校舎での生活を送れる予定です。教育環境の復興とは、施設面の改修に加え、安心して学校生活を送れる心の醸成も意味しています。子どもたち一人一人の心の安定に向け、職員総体となって、すべての子どもたちに関わっていきたいと思います。

(2) 吉尾小学校との統合準備



令和4年度からの統合に向け、準備を進めていきます。特に1年後の姿をイメージして、充実した交流活動等を行うよう職員とは共通理解をしています。吉尾小学校の子どもたちが安心感と期待を抱けるように、目的を明確にした交流活動を適切なタイミングで行えるように工夫していきます。

(3) 県指定「学校給食・食育研究推進校」の研究発表

11月30日(火)に研究発表会を予定していますが、現段階ではどのような形式で研究発表を行うかは未定です。子どもたちの心身の健やかな成長に向け、学校と家庭が一体となって食に関する取組を行ってきた様子を、教育環境の復興と関連付けてアピールできないか模索していきたいと思います。

(4) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の継続

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の流行については予断を許しません。学校でも感染防止に向けて最善を尽くしていきます。子どもたちにとっては不自由な生活が続きますし、学校行事の簡素化や中止などがあるかもしれません。教育活動

の充実とのバランスを考えながら判断していきます。

以上4つの重要なミッションについて説明しましたが、子どもたち、保護者、教職員、地域（企業）、行政の五者での連携をとりつつ、『地域に立つ』佐敷小学校をみんなで創り、一歩ずつ前へ進めていきたいと考えています。そこで、今年度の学校通信のタイトルは「前進」としました。学校の状況や校長の思い等を随時発信していきたいと思います。どうかご一読いただければ幸いです。

職員紹介

令和3年度の「チーム佐小」（本校職員）です。

最前列左から

平野（1年2組担任）
福田（1年1組担任）
坂本（6年2組担任）
濱田（校長）
林（教頭）
藤崎（6年1組担任）
百原（2年1組担任）
加賀（2年2組担任）



2列目左から

鳥居（算数TT等）
蓑田（校務員）
本井（学校栄養職員）
石田（スクールサポート
スタッフ）
宇田津（事務主幹）
設楽（3年1組担任）
田中（音楽専科）

3列目左から

木下（なかよし3組）
山下（なかよし2組担任）
萱田（4年1組担任）
塩森（5年2組担任）
寺川（なかよし3組担任）
前田（なかよし1組担任）
迫本（学習支援員）
森（教務・理科専科）

4列目左から

藤原（学習支援員）
伊藤（算数TT）
吉永（5年1組担任）
鬼塚（学習支援員）
ローラ・シェルトン
（ALT）
才荷（学習支援員）
小崎（養護）

※この他、ディラン・ニッキソン（ALT）、佐敷中と兼務で新川（養護）もおります。

チーム佐小、心をつなげて子どもたちの教育活動にあたっていきます。どうかご協力をよろしくお願いいたします。

学校通信は、ホームページにも掲載します。個人情報保護の観点から、フルネームや個人が特定される明瞭な写真は極力使用いたしません。ご理解をよろしくお願いいたします。